

登録日時	2009 1/27 17:18	登録番号	004
チーム名	水情報共有基盤チーム		
行動主体	<p>(株)日立製作所 ディフェンスシステム事業部 情報システム本部 【代表】 (株)建設技術研究所 (株)CBMI</p> <p>【事務局】 (株)日立製作所 ディフェンスシステム事業部 情報システム本部 高橋 慎一(たかはし しんいち) 連絡先: 03-4564-3136 (070-6435-3884) E-mail Address: shinichi.takahashi.sk@hitachi.com</p>		
行動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国が保有している水、物質循環に関する先端技術を東南アジアを始めとする各国に提供していくため、シミュレーションシステムや河川モデル等を自由に組み込める情報共有基盤の構築を図るとともに、国内的に水情報を共有するための要件を検討する。 ・ 情報共有基盤は水関係団体だけでなく「水の安全保障戦略機構」や各チーム間においても情報を共有するための基盤となりうることから、システム化するための機能、運用要件を調査し、国際標準と整合を取りながら情報共有基盤の確立を推進する。 ・ 情報共有基盤の確立により、以下の具体的な効果を実現する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後、水の安全保障戦略機構や政府で展開される各チームで構築・運用されるシステム間の情報共有が行なわれ、意思決定の迅速化、運用の効率化に寄与する。 (2) 各チームにおいて、同様なシステム機能の重複開発を防ぎ、システム開発の効率化に資する。 		
課題分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報共有基盤の導入は限られた利用者(河川局、国総研、土木学会、建設コンサルタント等)に留まり、多くの水関係者に利用されていない。 ・ シミュレーションシステム、データ等を利用し合う概念が成熟していない。 ・ 河川、水道、農業用水、下水道等には各々方言があり、統一した技術用語になっていない。また、共有すべき情報についても充分議論されていない。 		
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報共有の必要性を議論し、各省とも議論しやすい環境作りに留意する。 ・ 国交省の Common MP をサンプルとして示し、コンセンサスの取りやすい開発手法を模索する。 		